

6/12～14 全港湾中央労働講座

東海地方四日市支部

荒木英則

今回、全港湾第56期労働講座に初めて出席をさせて頂きました。初日1日目は鈴木誠一委員長からの「全港湾の歴史」に関する講義を受け、これまでの諸先輩方が“闘う労働組合”として産別運動に注力され、その結果勝ち取ってきた産別制度が如何に重要で、それがあってこそ現在の私たちの職域が守られ、組合活動が出来ていることを再確認させて頂きました。

次に全国港湾・玉田書記長の産別協定、及び事前協議の講座を受けて、船社一日港協、日港協一労組で行う「二者協議」の考え方や、賃金や休日休暇、作業時間などの労働条件の取り決めなど、これら事前協議と産別協議をもとに労使交渉が行なわれていることも改めて理解出来ました。これまであまり出来ていなかったところも踏まえ、今回の労働講座により、より鮮明に理解出来たことは大変勉強になりました。

その後、鈴木龍一副委員長からも組合強化に関するお話をお聞かせ頂き、組合組織の理念や理想をしっかりと掲げていかなければ、特に若い青年層を中心に「組合離れ」が加速していく一方だと危機感を感じました。

だからこそ、私たち現組合役員はこれから組合活動の更なる強化を目指し、多くの組合員に対して労働組合をより身近なものと感じてもらうための工夫を重ねながら、組合組織のマネジメントを着実に進めていかなければならないと感じています。

その他普段あまり交流することが出来ない他支部の皆さんとも、グループ討議を通じて様々な意見交換や課題の共有、懇親を図ることが出来たことは今後の労組活動にも活かしていきたいと思えます。3日間大変ありがとうございました。

以 上